

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直東学園版

令和4年度 第3号
令和4年7月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

がんばった!! 運動会・体育大会



今年も各小学校で運動会・体育大会が開催されました。コロナ感染症の状況を考慮し、種目や応援を工夫して行いました。緩和とはいえ、まだまだ制限の多い中でしたが、子どもたちは最後まで力いっぱい取り組み、大いに盛り上がりました。

北坂訪小学校 「すくすく運動会」 5月21日(土)

「燃え上がれ! 心を一つに 情熱の炎」のローガンのもと『すくすく運動会』を行いました。今年度も、コロナ禍のため学校開催として半日日程で行いました。応援席も2m以上の間隔をとり、声を出しての応援も可としました。久しぶりの活気のある運動会となりました。徒競走の他にも、全校で披露する「よさこい」や全校種目「北坂訪じゃんけん合戦」、「全校リレー」など子どもたちは、全ての競技に全力で取り組みました。精一杯応援する姿、競技を終えて応援席に帰ってきた仲間に労いの言葉を掛けている姿等、たくさんの輝いている子どもたちの姿が見られた素晴らしい運動会でした。



保倉小学校 「スポーツフェスティバル」 5月28日(土) かけぬけろ みんなの応援ゴールまで

今年度も家庭からの応援人数を2名と制限した中でのスポーツフェスティバル。赤白団長を中心とした応援リーダーの下、工夫を凝らした応援合戦で始まりました。

1～3年生の紅白玉入れは、楽しいダンスとともに籠に入りきらないほどの玉が入りました。4～6年生の大玉送りは、自分よりも大きい玉をコントロールすることが難しく、最後の最後まで勝敗が分からない接戦となりました。大きな声を出しての応援は控えなくてはならないと分かってはいても、つい立ち上がって手をたたいて声援を送る姿も見られました。また、徒競走やリレーでは、力いっぱいの走りが見られ、親子競技では、家の人の頑張りや親子の絆が光りました。

勝った喜び、負けた悔しさ、力を出し切った充実感で終えることができた半日でした。



有田小学校 「 Go! Go! フェスティバル in あいた 」 5月28日(土)

コロナ禍でも、やれることをカタチにする…子どもたちの、保護者の、地域の、そして教職員の思いはひとつです。市内の感染状況が落ち着かない時期でもあったことから、子どもたちの安全・安心を担保するため、直前までPTAの皆さんと相談し、昨年度の経験を生かして対策を積み重ねました。そして、当日は、新しい形の運動会として赤・白・青・黄の4軍で競うことができました。

運動会に向けて子どもたちは、短時間であってもメリハリを付けて練習をしてきました。当日は天候にも恵まれ、きびきびとした動きを披露するとともに、フィールドを全力で疾走する子どもたちの姿をご覧いただくことができました。無事に開催でき、ひとつカタチとなったことに感謝しています。



春日新田小学校 「 春日新田小学校運動会 」 6月3日(金)



感染症対応により2回の延期を余儀なくされ、さらに平日開催となりましたが、無事に運動会を行うことができました。当日は天候も心配でしたが、途中で降った雨も15分程度で止み、予定していた競技を全て終えました。今年のスローガンは、「何があっても仲間とともに全力で」です。この言葉には、何が起きても柔軟に対応し、いざというときには全力で運動会を行うという強いメッセージが込められています。そのスローガンの通り、いろいろとありましたが、両軍の応援団長の力強い宣誓に始まり、各学年の種目、そして、応援合戦と盛り上がりを見せました。平日だったにもかかわらず、PTA役員の皆さんをはじめとする多くの保護者の方が応援に駆けつけてくださいました。また、学校運営協議会や町内会の皆様にも来ていただき、たくさんの方に支えられた運動会でした。

の通り、いろいろとありましたが、両軍の応援団長の力強い宣誓に始まり、各学年の種目、そして、応援合戦と盛り上がりを見せました。平日だったにもかかわらず、PTA役員の皆さんをはじめとする多くの保護者の方が応援に駆けつけてくださいました。また、学校運営協議会や町内会の皆様にも来ていただき、たくさんの方に支えられた運動会でした。



体力つくり 1校1取組運動



北 諏 訪 小： 体力テストの結果をもとに、自己目標を設定します。児童の発達段階に応じたワークシート等やICT機器を効果的に活用し、全校体制で体力向上に取り組みます。

保 倉 小： 柔軟性、巧緻性そして持久力のアップを目指し、継続的な運動を行えるようにサーキットトレーニングの工夫をします。また運動時間の確保に努めます。

有 田 小： 体力テスト等から子どもたちの体力を把握します。授業で用いたシート等を綴るファイルを6年間通じて持たせ、自身の成長や向上を実感する一助とします。

春日新田小： 毎月10日の「けんこうの日」に、全校に呼びかけ、希望者で体を動かす取組を行っています。グラウンドで鬼ごっこをしたり、体育館で長縄跳びをしたりして汗を流しています。

直江津東中： 昼休みには、グラウンドや体育館で積極的に体を動かす生徒が多くいます。また、放課後の部活動では、体力の向上に各部で取り組んでいます。体力テストの結果から、課題である「全身持久力」や「握力」の向上に体育授業で取り組んでいきます。